

丸山景右の  
いい家を建てる!

プロが教える雨楽な家づくりの極意

vol.22

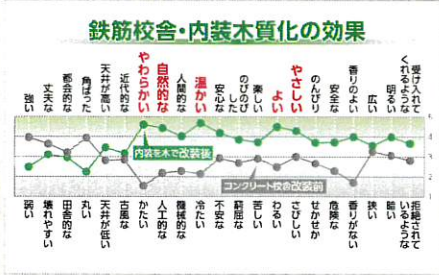


「鉄筋校舎の内装を木質化して快適に」

日本は国土面積の67%が森林という世界有数の森林国。森林率第1位は高知県で84%、2位は岐阜県で81%。岐阜県には「東濃ヒノキ」や「長良スギ」などのブランド材があります。かつて岐阜県の山村の小学校において、築後24年の鉄筋コンクリート造の校舎の内装が老朽化したため、構造はそのままで内装だけ木質化する改装工事が行われました。寒冷地のため内装を木質化することになったそうです。改装工事の前と後の教室について、教師を対象に、どんな印象をもったかを把握する調査結果があります。

鉄筋コンクリート造の校舎をどのように改装したかという、教室の壁面はヒノキ材、天井はサワラ材を使用。サワラはヒノキと異なり強い香りがないのが特徴の針葉樹です。出入口はサクラとケヤキ。家具も天然木化粧合板という見事な内装木質化工事です。

教師から見た印象はおおむね次のようなものです。「これまでの鉄筋校舎は、硬く、冷たい感じだったが、内装木質化教室は、柔らかく、温かい雰囲気に変化した。鉄筋校舎は、人工的、機械的な印象を与えていたが、内装木質化によって、教室は自然的、人間的な感じになり、教室が「角



張った」感じから「丸い」感じへと変化した。グラフの灰色の●は改装前の評価、緑色の●は改装後の評価を5段階で表わしています。中ほどの「安心感」から右端の「受け入れてくれるような」までは、「快適性」を表わす要素ですが、「広い」を除いては明らかに改善が見られます。教師は次のように感じています。「鉄筋の校舎は快適ではなかった。不安、窮屈、苦しい、寂しい、せかせか、危険、香りが無いという雰囲気、評価は悪く、拒否されているような感じを与えていた。一方、木質化された教室は雰囲気が一変し、快適になった。安心、のびのび、楽しい、やさしい、のんびり、安全、香りのよい、というように、良い評価で、受け入れてくれるような感じになった」。内装木質化により、教室のイメージが大きく改善されました。木の内装は教室の環境としても適しています。鉄筋校舎から木造校舎への建替えができない場合は、校舎の内装を木質化するだけでも、教育環境が大きく改善することがわかりました。

Topics

今月の気になるものをご紹介



額縁型のライト「ボタニックフレームセンサーライト」

天然木の額縁に人感明暗センサーライトが組み込まれたインテリア照明。置き、掛け、吊るしに対応。玄関・トイレ・通路など暗所でも光り、人の気配でも点灯します。植物や他のインテリアと組み合わせを楽しむこともできます。例えば暗くなりかちな階段の壁に掛けたり、踊り場にさりげなく置いてインテリアのポイントに。額縁の色はライトブラウンとナチュラルの2色から選ぶことができます。販売元:SWAN 公式ホームページ <http://www.slmac.co.jp>



子どもの秘密基地に「キッズティビートント」

無塗装のバイン材のポールと、キャンバス素材の布地で組み立てるインディアンテントのような子ども用テント。リビングや階段下のスペースに子どもの秘密基地を手軽に作れます。ポールと布の両方を紐でしっかり固定でき、ポールのみが倒れるのを防ぎます。開まりきらないデザインの入り口からは中の様子も見守れます。ポールと布で分割できるので布地を洗ったり、省スペースにしまえるのも魅力です。販売元:LOWYA 公式ホームページ <https://www.low-ya.com>

URAC

vol.22  
2018.10

暮らしをつくる階段



contents

- 今月の「雨楽な家」 愛知県・W様邸
- 丸山景右の「いい家を建てる」 vol.22「鉄筋校舎の内装を木質化して快適に」
- Topics ボタニックフレームセンサーライト・キッズティビートント



# 特集 暮らしをつくる階段

## 家の間取りに大きく

### 関わる階段の位置と形

2階建以上の家には必ず必要な階段の役割は、ただ1階と2階を繋ぐだけではありません。その種類や設置場所が家の間取りづくりにも大きな影響を与えます。例えば、玄関と階段を廊下で繋げるスタンダードなもの、現在は主流のひとつにもなってきたリビング階段。この2つでも生活スタイルには大きな差が出ます。階段の設置場所や種類のメリット・デメリットを理解しながら家族のスタイルに合ったものを選びましょう。

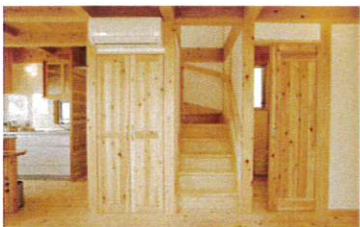
### 基本になるのは「直階段」と「折り返し階段」の2種類

階段の種類には「かね折れ階段」「らせん階段」など様々なものがありますが、基本になるのは以下の2種類です。



直階段

一直線に上り下りする階段。占有面積が少なく、階段下を収納スペースなどにも活用できます。面積が少ないと勾配が急になる場合があるので注意が必要です。踏板の下に何もつけないスケルトン階段にすると光や風をよく通し、開放的な印象になるのでリビング階段によく用いられます。



折り返し階段

途中に踊り場を設け折り返す階段。途中の踊り場が落下する危険性を軽減してくれます。段数が増えるため、勾配も緩やかになりますが、直階段と比べるとスペースが必要になります。跳込み板を付ける「箱型階段」にして、階段下のスペースを収納などに活用するパターンもよく見られます。



リビングの光や風を遮断しないスケルトンの直階段

### アクセントになる階段



らせん階段

省スペースで、家のアクセントにもなるらせん階段。踏み面が全て三角形に近い形状のため上り下りには注意が必要です。動線が直線ではないため、大型の家具などの搬入が難しいことがあります。



収納階段

階段自体に収納力を持たせてインテリアの一部として活用します。ロフトとの上り下りにも使いやすいデザインで、縦に長い部屋の中央に置いて間仕切りのように使うのも効果的です。

### 階段の配置や周辺はどうする？

階段の位置や周辺に何を配置するかで、階段下のスペースをより活用できたり、階段に間仕切りの役割を持たせることもできます。ご家族の理想的な生活スタイルに合った階段はどんなものでしょうか。



家の中央・横向きに配置

#### 中央に置いた階段を最大限に活用

リビングとダイニングの間に階段を配置。玄関から2階へ上がる時にはリビングを通り、ダイニングとキッチンを見る動線ができます。そして、中央に階段を配置することで、玄関からキッチンが丸見えにならない利点もあります。

#### 背の低い収納を置いてスッキリとした空間に

スケルトンの直階段の下に背の低い収納を配置することで、空間に奥行きができてスッキリとした直線的な印象に。他の家具等と高さを揃えることで、空間をより広く見せることができます。



土間から直線・壁沿いに配置



家の中央から・壁沿いに配置

#### 階段の下の空間を活用してトイレに

L字型の「かね折れ階段」の下の空間をトイレに活用。階段の上り口を玄関から逆の位置に設けることで、玄関の正面は壁面となり、スッキリとした印象に。2階のプライバシーも守られやすくなります。



土間からすぐ・横向きに配置

#### プライバシーを守りながら適度に存在を感じられる工夫を



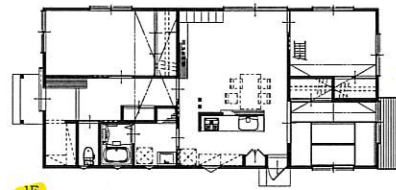
玄関土間からの直階段。土間とリビングの間仕切りをポリカーボネートで適度に透過。空間が明るくなり2階への上り下りをLDKからも確認できて安心です。

### 今月の「雨楽な家」 愛知県・W様邸

#### リビングの箱階段で上がるロフトが楽しい和モダンな平家。



和の趣を感じる切妻屋根の落ち着いた外観デザイン。



1F

和モダンな外観デザインの平家。中に入ると玄関の横には大容量の土間収納。木の香るホールを抜けると大空間のLDK。一段高い勾配天井が開放的です。キッチンはアイランド型で料理中にも楽しくしゃべり、リビングの上にはオープンロフトと、収納も兼ねた箱階段。スッキリとした空間にアクセントを加えています。



玄関横に大容量の土間収納を設けて、玄関はいつもスッキリ。

勾配天井とロフトを見上げるLDK。へたと続く箱階段がアクセントに。